

(倫理様式 2-2-1)

パーキンソン病患者における Vyalev 治療の有無による SEIQoL-DW の比較とナラティブ分析

1. 研究の対象

2020年1月から2025年9月の間に美原記念病院においてパーキンソン病と診断され SEIQoL-DW 評価を受けた方全例

2. 研究目的・方法

本研究では、パーキンソン病の診断を受けた患者さんのうち、デバイス補助療法「Vyalev」の導入有無により、QoL（生活の質）にどのような違いが見られるかを、SEIQoL-DW という主観的 QoL 評価尺度を用いて比較検討します。これにより、患者さんご自身が大切にしている生活領域（例：家族、趣味、役割など）と治療の影響を明らかにし、今後のよりよい治療選択に活かすことを目的とします。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

過去の診療記録から以下の情報を匿名化した上で使用します。

・年齢・性別、疾病の診断名・罹病期間、Vyalev の使用状況、MDS-UPDRS・HY ステージ等の臨床評価、SEIQoL-DW 評価結果（インデックス、キュー、レベル、ウェイト、ナラティブ記述）

すべてのデータは匿名化され、個人を特定できる情報は用いません。

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

公益財団法人脳血管研究所 美原記念病院 パーキンソン病・運動障害センター
研究責任者 中島 美幸

住 所：群馬県伊勢崎市太田町 366

T E L：0270-27-8813 F A X：0270-24-3359